

芋堀り体験農園 里むすめ畑

・徳島県／鳴門市
・開催時期：8月～9月、不定休

なると金時の地域ブランド「里むすめ」収穫を気軽に体験！

体験学習等のイベント内容

- ・親子で気軽に農作物収穫体験が楽しめる、一般の方に農作業体験等を通じて農作業の面白さを感じてもらっています。
- ・鳴門の海の潮風香る広大な砂地畑で、最上級のなると金時「里むすめ」を自分の手で掘ってお持ち帰りいただけます。
- ・砂地の畑で、小さなお子様でも簡単に芋堀りができます。水はけ良く、海砂からのミネラルにより甘く育った「里むすめ」を是非味わって下さい。
- ・この活動には県外からも多くの家族が参加し、農作業の楽しさを味わっています。



取組主体の紹介

なると金時「里むすめ」、青首大根「里むすめ」といった、さつまいも・だいこんのブランド産地である里浦の農業・農業者等を支える組織「JA里浦」が100%出資し創設した株式会社です。農地の経営（甘藷・大根の生産）、農作業支援（ファームサービス）、生産物及び加工品の直売事業等、幅広い事業を展開しています。

イベントに参加するには

参加を希望される場合は、一週間前までに下記へ予約を。

- ・取組主体等：株式会社JA里浦ファーム
- ・問合せ先（TEL）：088-612-8401
- ・参考URL：<https://jasatourafarm.com/imohori/>



香川県を一つの大きな農園とする農業体験プロジェクト

体験学習等のイベント内容

- ・野菜や果物の本当のおいしさを知るために大事なこと、それは、作った農家の人に直接、話を聞くこと。つくっている場所をその目で見る。舌だけでなく、心で！脳で！！体全体でおいしさを味わってもらい、「本当のおいしさ」と「驚き」を体験してください。
- ・農業体験以外にも、「農家がやってくる！」と題した各地での料理教室等も実施しており、内容は毎回変わります。
- ・これまで実施された農業体験では、田んぼでの稲刈り体験、ぶどう園での収穫体験、みかん狩り、いちご狩りやぶどうの箱詰め等々。
- ・体験内容は随時更新されていますので、HPでは是非チェックしてみてください。



取組主体の紹介

「さぬき農園ぐらし」は、農家での農業体験や農家の方による料理教室など、農業を体験できる場所を紹介するサービスです。香川県全体を大きな農園として見立て、食の大切さを学ぶ機会の提供を目的として発足した、さぬきファームプロジェクト協議会の取り組みとなります。

イベントに参加するには

「さぬき農園ぐらし」では、年間を通じて様々な体験が可能です。まずは下記HPにて確認を。

- ・取組主体等：さぬき農園ぐらし
- ・問合せ先：090-9312-1467(TEL)
- ・参考URL<http://sanuki-nouengurashi.com/>



檜谷棚田オーナー制度

- ・愛媛県／大洲市
- ・開催時期：田植え期、稲刈り期

“天空の隠れ里”で、1aの田んぼのオーナーになりませんか。

体験学習等のイベント内容

- ・荒廃していく棚田を保全するため、棚田を社会全体の財産と考え、都市住民の協力で保全していきたいと考えています。
- ・体験内容は、棚田1区画(約100㎡)のオーナーとなってもらい田植えや稲刈り時期に、オーナー田で作業を行います。作業時には地元農家等が作業援助を行います。また、おやつのプレゼントもあります(食事は各自でご用意下さい)。
- ・田植えや稲刈りなどの農作業に参加したり、棚田の景観や自然、生産者との交流を通じてリフレッシュすることができるほか、収穫された棚田米や地域の野菜・果物を受け取ることができます。



取組主体の紹介

「檜谷棚田保存会」は、檜谷の棚田を保存するために設立されました。しかし、地元だけでは棚田の維持は難しいです。活動趣旨に賛同してくれる「棚田お手伝い隊」も募集しています！

イベントに参加するには

下記HPから募集要項を確認して、申込書を大洲市農林水産部農林水産課まで郵送またはFAXにて。

〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690-1

電話 0893-24-1727 (直通)

Fax 0893-24-1350

- ・取組主体等：檜谷棚田保存会
- ・問合せ先（TEL等）：080-1525-8306

・参考URL：
<https://sites.google.com/site/kashidanitanadahozonkai/home/ownersystem>



大自然の中で田舎のオンちゃんおばちゃんと農業体験

体験学習等のイベント内容

- ・都市部で生活する方々に、高知、仁淀川の大自然を満喫しながら農業体験をしていただき、農作業を通じた癒しを提供することを目的としています。
- ・生産者の想いや苦労、田んぼや土の感触などをリアルに体験し、都会ではなかなか学ぶことのできない「気づき」や「考える力」、「生きる力」を育みます。
- ・田植え体験は5月下旬～6月上旬、稲刈り体験は9月下旬～10月上旬、いずれも2時間程度の体験です。
- ・当地では、水稻の体験の他にも、しいたけの駒打ちの体験も行っています。また、農業体験だけでなく、料理、歴史散策、手作り雑貨づくり等、様々な体験メニューがありますので、あなたがやりたいことがきっと見つかります。



取組主体の紹介

いの町は、都市部から近い立地にもかかわらず、清流日本一に輝いた、仁淀川と吉野川が流れ、さらには国定公園でもある石鎚山系もあり、日本を代表する自然が残る町です。いの町観光協会は「いの旅をもっと楽しく！」ということで、『食』『遊』『泊』『癒』『買』の各方面に全力で取り組んでいます。



イベントに参加するには

農業体験は、希望日の3週間前にお申し込み下さい。

- ・取組主体等：いの町観光協会
- ・連絡先（TEL等）：088-893-1211
- ・参考URL：<https://www.inofan.jp/>